

豊浦産のいちごを100%使用

「Ribbon 北海道いちごソーダ」全国発売



▲いちごの甘い香りとさわやかな甘みの特徴のソーダをぜひ、ご賞味ください。(1本140円税別)

豊浦いちごを使用した「Ribbon 北海道いちごsoda」が、11月26日より、全国販売されました。

今年は、豊浦産のいちごを100%使用。ポッカサッポロの山本社長は、「今年も貴重ないちごを分けていただき、おいしいソーダができました」村井町長は、「豊浦町の名前を全国にPRしてもらいありがたい。これを機に他の産品を活用した6次産業化にも弾みをつけたい」とお礼を述べていました。

コスプレして大会に参加

TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会 団体戦

11月18日、天然豊浦温泉しおさいで、第6回TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会団体戦が行われ、町内から2チームを含む20のグループが熱戦を繰り広げました。

このホタテ釣り大会もだんだんとメジャーになり、遠くは埼玉県やテレビ局のアナウンサーチームの参戦もあり、ホタテを釣るだけでなく、仮装をしながら競技をする姿に、参加者自ら楽しんでいる様子が見られた大会となりました。



▲大岸小学校の先生も仮装をして参加。場を盛り上げていました。

「マレーシア」ってどんな国？

大岸小学校 国際理解教育活動「マレーシア集会」



▲スカーフやシールで装飾体験をし、記念撮影。

11月13日、大岸小学校で国際理解教育活動「マレーシア集会」が行われました。

児童は、先生が作成したパスポートでマレーシアへ離着陸する疑似体験をしたあと、マレーシアに滞在経験のある、地域おこし協力隊の田中博子さんから、マレーシアのあいさつや食べ物などの文化について学びました。

「どのようなスポーツが人気なの?」「なにが流行っているの?」と児童は多くの質問を投げかけ、日本とは異なる文化のマレーシアに対し、興味を示していました。



▲地元の中生も大会に参加し、健闘しました。



▲皆の視線がステージに集まり、緊張した雰囲気の中行われた決勝戦。